

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果と課題

【結果】

- 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果は、小学校、中学校ともに全教科（国語・算数・数学のA・B）において全国平均をかなり上回り、全国上位の石川県の平均も小学校、中学校共に全教科において上回る状況です。（図1）
- 質問紙の本市として達成目標を掲げている「計画的に勉強する」は例年伸び悩んでいましたが、今年度小中共にわずかながら県を上回り伸びが見られました。これは、昨年度市学力向上部会が中心となり、各学校が家庭学習の課題や時間について児童生徒が学校にいる間に見通しを持たせたことや、家庭学習カードを活用することで、保護者に家庭学習への理解や協力を得ることに努めた成果といえます。（図2）

【課題】

- ・ 例年課題となっている目的や条件に応じて書く力については、授業や補充学習を活用した各学校の取組により、児童生徒の書くことへの抵抗感は少なくなり、算数B・数学Bにおいて正答率の伸びが見られ、成果が出てきたといえます。今後は、特に授業において、目的に応じて自分の考えを整理して書く場を保障し、適切な評価をしながら力を付けていく必要があります。
- ・ 学校質問紙で、学力向上のPDC Aサイクルが確立できていると回答した割合は小学校で83.3%、中学校で66.7%と県平均を大きく上回りました。さらに共有・分業を図りながら、共通実践をやり切り、安定した成果を上げられるシステムの機能化を図る必要があります。
- ・ 小学6年生の「将来の夢や目標を持っている」割合が数年来県平均を下回っています。計画的に、地域の人材を生かした生き方や職業についての学習（キャリア教育）の充実を図っていく必要があります。

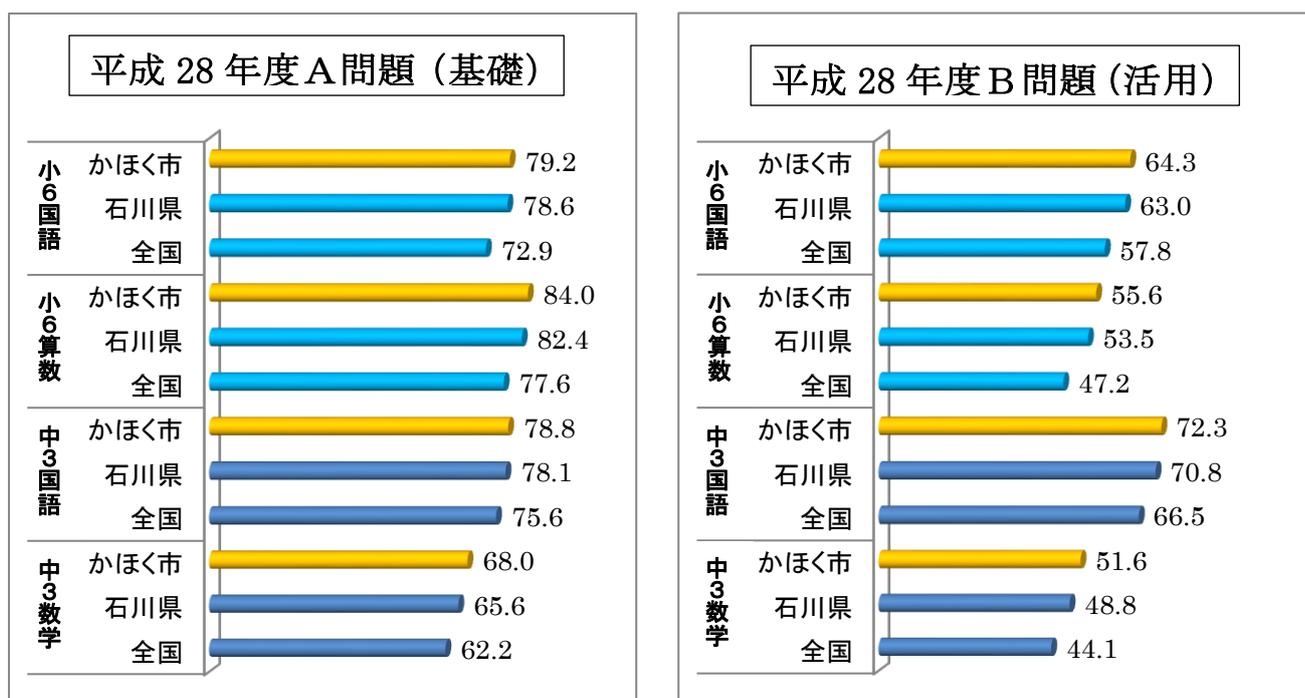
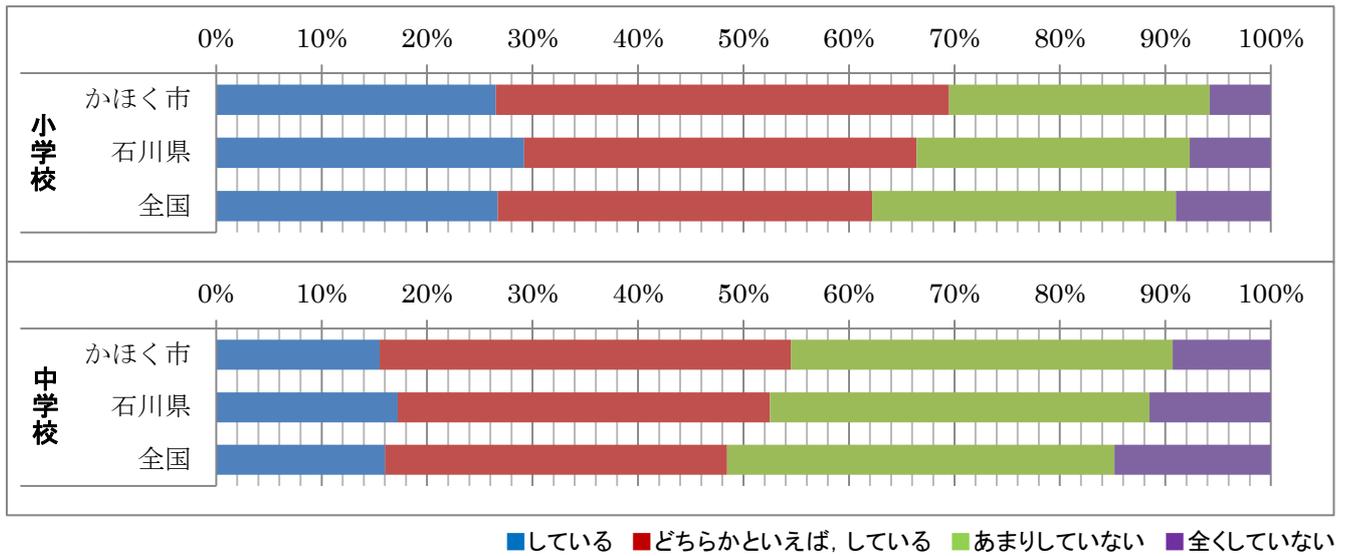


図1 平成28年度の全国学力・学習状況調査平均正答率（%）

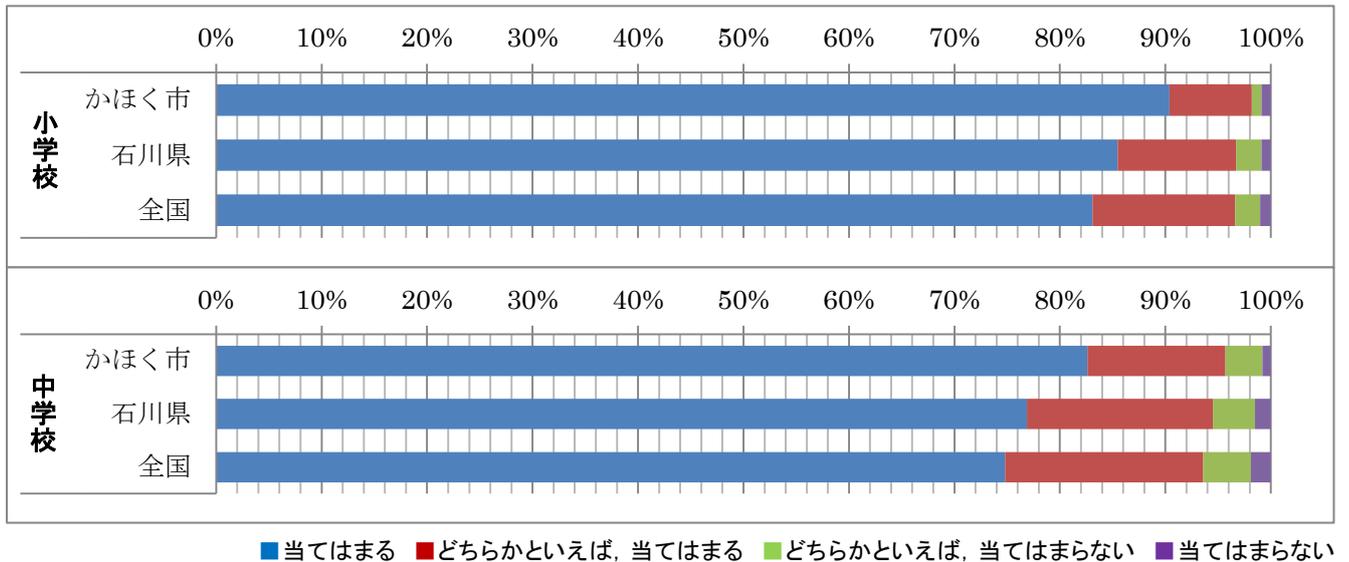
（資料：学校教育課）

図2 平成28年度 全国学力・学習状況調査 質問紙結果 (抜粋)

質問1 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか (平成30年度目標値75%)



質問2 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (平成30年度目標値100%)



質問3 将来の夢や目標を持っていますか (平成30年度目標値 小95% 中80%)

